



なかよし

第3号

令和7(2025)年7月1日発行

園長 リチャードソン一枝

～1学期が終了しました～

この1学期間クラスヘルプや行事ヘルプを通して幼稚園活動にご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

ひつじ組の子供たちにとっては、ドキドキで迎えた幼稚園生活、毎週土曜日楽しみと不安と時々涙が出てしまう子の姿もありましたが、1学期を終え全員がクラスの様子や流れにも慣れてきたことがはっきりとわかります。年長さくら組の先生の話聞く姿や一生懸命にひらがなの書き練習をする様子は、「さすが年長さん」と感じさせてくれます。そして何より、毎週元気に登園し元気に降園してくれたこと、教員一同大変うれしく思っています。

2学期年中ひつじ組は、色々な線や形を書く運筆練習を始めます。また、ひらがなの言葉集めを続けながら、ひらがなの書き順や形に触れていきます。さくら組は、引き続き形やバランスに気を付けて字を書く練習をしていきます。

2週間のお休みを暖かくしてお過ごしください。始業式に元気にお会いしましょう！！

七夕集会

2週の授業を使って作り上げた短冊飾りや短冊を飾った笹飾りは、それぞれの子供たち自慢の笹飾りの出来上がりになりました。こうして先生やお友達と体験したことは、楽しい思い出となって残ってくれると信じています。みんなの素敵な夢がかかりますように。

お願い

遅刻のないよう余裕をもって登園しましょう（45分の授業時間を有効的に使うため、授業計画を立てています。登園後のマットタイムは、その日の授業において集中していくための時間です。）

登園前にトイレをすませましょう。

事務局からのお願い

安全確認のため、授業日当日の欠席・遅刻の連絡は9時30分までにお願いします。

【欠席等連絡フォーム】

<https://forms.gle/FESKHCYtYVMPWwCBA>

【Email】 office.cjss@gmail.com

【TEL】 03-348-9512

※緊急時はお電話でお願いします。



年中ひつじ組 S先生

登園してからマットに集まる朝のルーティーンがほぼできるようになりました。マットタイムでは、発言・発表する回数は違ってもきちんと座ってお話を聞く・授業に参加するという事が出来るようになってきました。

1学期のひらがな学習は、一語一音の発音に注視し、毎週1行ずつみんなで声をそろえて発音練習をしました。大きな声で「あいうえお」の発音練習がみんな大好きです。

制作活動では、文化行事の理解に加え「日本語で説明を聞き理解し、指先を使ってものづくりを楽しむ」を目的としています。手順に沿って作品を作りながらそれぞれの自分らしさがプラスされ、個性的な素敵な作品が沢山出来ました。

一学期後半には、ストーリー性のある繰り返し絵本を読み聞かせしました。子供たちは先後まで集中してお話をきき、物語を楽しむことが出来るようになっていきます。家庭でも、絵本を通して一緒にお話を楽しんだり会話を膨らませたり、日本語をたのしんでください。

2学期も子供たちの個性を尊重し、一人一人のペースを大切にしながら、附属幼稚園ならではの体験を通じて楽しく学習を進めていきます。



年長さくら組 H先生

本の読み聞かせや手遊びで、子供たちが先生に集中し、授業が始まります。

ひらがなの書き練習は2画文字に入りました。書き順を意識して正しく覚えるために、1画目は赤、2画目は青とクレヨンの色を変えて練習をしています。また、「とん」としっかり入り、最後の「はらい」「はね」「とめ」がきちんとできるように、マスの中の字のバランスに気を付けられるように、字の形をよく見ながら何度も練習しています。本当に上手にかけた部分や字には先生が花丸をあげています。みんな花丸をもらうために一生懸命です。ご家庭でも、「お母さん花丸」や「お父さん花丸」でたくさん褒めてあげてください。

ひらがなノートに貼られていく学習・宿題プリントには、日々の学習の積み重ねや上達の様子が記録されていきます。しゅうかん読書ノートには、本の感想を書けるようになるお子も出てくるかもしれません。「面白かった」から、どこがおもしろかった、どうして面白かった、どんなふうに面白かったが説明できるようになっていきます。そのような気づきも書き留めてください。1年後に見返したとき、その成長ぶりにきっと驚かれることでしょう。

「切り絵 気球」年中

きれいな色紙を前に、ワクワク。みんなハサミが上手に使えます。「紙が小さいので、のりはこう使ったほうがいいかな」と先生の小さなアドバイスをきいて、のりを上手に使う練習もします。色の選び方、貼りが個性ある素敵な気球の絵が出来ました。

「笹飾り製作」(年長)

線の入った折り紙を前にして、直ぐに作業に取り掛かっていた気持ちでぐっとおさえ、先生の手順説明を聞きます。説明を理解したうえで、作業開始。

切りすぎないように気を付けて。小さい紙に糊を少し。これらの小さな作業が指先を使う訓練。遅い早いはあるけど、全員しっかりと作品を完成することができました。

